

山形県再生可能エネルギー発電事業審査委員会 議事録
【概要版】

1 日 時 令和7年2月5日（水） 10時30分～12時00分

2 場 所 山形県自治会館 602 会議室（WEB併用）

3 出席者等（敬称略）

（1）出席委員

三浦 秀一 横山 潤 本山 功 渋谷みどり 山科 沙織 本間 佳子

（2）県・事務局

環境エネルギー部長 高橋 徹

環境エネルギー部エネルギー政策推進課長 榎 裕一

エネルギー政策推進課課長補佐（総括・地域エネ担当） 川瀬 誠

環境企画課カーボンニュートラル・GX 戦略室長補佐 前田 剛

4 会議の概要

（1）開会

（2）あいさつ

（3）協議・報告

① 委員会の公開・非公開について

委員全員の一致により、企業の事業計画の未公開情報に関する事項は、非公開とすることとされた。

② 再生可能エネルギー発電事業計画の協議等の状況について

委員から意見なし

③ 山形県再生可能エネルギーと地域の自然環境、歴史文化的環境等との調和に関する条例の手引き改定について

（横山委員）

今回の手引きの改定で、例えば、全般的事項で示された基本姿勢等の明示によって、事業者と市町村の関係部署との意思疎通などの改善が図られたようなことはあったか。

（エネルギー政策推進課長）

手引きの改定が今年度6月であって、まだ間もないが、案件がある自治体の方や住民の方からは、このような基準があると、これまでどうしたらいいのか分かりづらい部分が少しクリアになったという前向きな評価をいただいている。

（山科委員）

手引き 13 頁で、説明会の開催案内の手続きが全部書面、紙媒体で行うよう記載されているが、若い世代は多分あまり見ないと思う。何か Web 上に載せていけない理由があるのか。

（エネルギー政策推進課長）

Web を活用することは、非常に大事な視点である。なお改善の余地がないか、ご意見を踏まえて考えてまいりたい。

一方で、まずは地域でしっかりお考えいただくという観点では、SNS、ホームページなどの活用については、臨機応変に、その案件形成の進捗に応じて、適切に活用していく必要もあると思っている。

山形県再生可能エネルギー発電事業審査委員会 議事録
【概要版】

(三浦委員長)

説明会の開催案内をネットで公開した方が見やすいが、例えば対象を100mとか300mの範囲としているところをさらに広げてしまい、利害関係者以外の方が来られても、本当に地域の当事者に対する説明になりにくかったりするということも考えられる。ネットでは地域限定の配信ができないというテクニカルな部分も含めて考えていく必要があるということではないか。

(エネルギー政策推進課長)

広く情報を客観的にお示しするという観点では、非常にSNSというのは有効だと思う。一方で、まず地域の方々が事業についてどうお考えいただけるかという安定した議論を先にすることで、案件形成というものが見えてくると思うため、そのタイミングや使い方はご意見を踏まえて、考えてまいりたい。

(山科委員)

各自治体ではホームページに広報紙を掲載しているところが多く、そこに載せてはいけないのかという意図で質問させていただいた。紙媒体のものに限るとしていても、別に情報はネットで見られるという意味合いだったのか。

(エネルギー政策推進課長)

どのタイミングで出したらいいかという点はあるが、基本的に情報公開という観点から、手引きへの書きぶりは改善したい。広報などはホームページでもアップされているため、タイミングをみながら、しっかりお知らせするよう市町村とも連携して進めてまいりたいと思う。

④ 意見交換 非公開

(4) その他

「温対法の再エネ促進区域に係る県基準の設定」について、環境企画課から資料6に基づき説明

5 閉会